



▲親子連れなどの参加者たちが楽しくしめ縄を作っていました

新たな年を迎える準備を

家族で楽しくしめ縄NOW!

12月26日、平塚川添遺跡公園で家族を対象としたしめ縄づくりが行われました。

災難を防ぎ、家族の健康を守ると伝えられるしめ縄。飾りのダイダイの実やユズリハの葉は子孫の連続を象徴し、ウラジロの葉は誠実・清廉潔白を象徴しています。

参加した9組の家族は、日ごろ行わないわらを編む作業に苦戦しながらも講師の指導のもと、立派なしめ縄を作り、新たな年を迎える準備を整えていました。

かけがえのない「いのち・平和」

いのち・愛・人権展 in はぎ

人権週間(12月4日～10日)期間中の5日、杷木地域生涯学習センター(らくゆう館)で、かけがえのない「いのち」と「平和」の尊さを伝えようと、「第22回いのち・愛・人権展 in はぎ」が開催されました。

会場では、小中学校、学童、ボランティア団体等による合唱・合奏・発表が行われました。また、朝倉市人権作品コンクール入賞作品などの人権作品が展示され、訪れた人たちは、熱心に作品に見入っていました。



▲久喜宮小学校(左下)・ひまわりっ子クラブ児童(右下)たちが、元気に発表してくれました。

目指せ! 未来のスター選手

キッズサッカーフェスティバル

12月19日、原鶴温泉分水路グラウンドで、試合経験が比較的に少ない3年生以下の選手たちに、試合とボールを蹴る楽しさを身近に味わってもらおうと、朝倉市商工会主催による第3回キッズサッカーフェスティバルが開催され、市内外の18チームが参加しました。

午後からは市内のサッカー未経験の子どもたちも招待し、アビスパ福岡のコーチによるサッカー教室が行われ、子どもたちはプロの指導者のアドバイスを熱心に聞いていました。



▲寒さに負けず、元気にプレーする選手たち

家族の健康を祈って

甘木バタバタ市

1月4日、5日の2日間、安長寺(甘木)で甘木バタバタ市が行われました。これは、奈良時代から伝えられる伝統行事で、郷土玩具「豆太鼓バタバタ」が販売されます。もともとは、ほうそうよけのおまじないですが、産室に置くと胎児の発育がよく、生まれる子どもの目鼻立ち、四肢に至るまで均整がとれ、床の間に飾ると、その家に幸運が訪れると言われていました。

境内は、家族の健康を祈願する多くの参拝客で溢れていました。



▲華やかな着物を身にまとった甘木小学校の児童により、抽選会が行われました

アフガン、さらなる農業復興へ

アフガニスタン大統領特別代表 山田堰視察

12月17日、アフガニスタン政府のジア・マスード大統領特別代表が山田堰や三連水車などのかんがい施設を訪れました。

ジア・マスードさんは実際に山田堰を見学しながら、筑後川の速い流れに耐える山田堰の構造などについての説明を受けました。

「国民の70%が農業に携わっており、農業生産が向上すれば、生活の改善ができ、平和にも繋がる。今後さらにアフガニスタンで山田堰の技術を広めたい」などと話しました。



▲山田堰土地改良区の徳永理事長(右)から説明を受ける、ジア・マスード氏(左から2人目)

美味しいお餅にな〜れ

学童保育わんぱくクラブ甘木餅つき会

甘木学童保育所で12月5日、昔ながらの行事を体験し、地域との交流を深めようと、学童保育わんぱくクラブが企画した恒例行事の餅つき会が開催され、50人の子どもたちと保護者、指導員が参加しました。

子どもたちは「イチ、ニ、イチ、ニ」と声をかけあい、仲良くお餅をつき、顔を真っ白にしてお餅を丸めていました。

出来上がったお餅は、参加者たちで食べたほか、学童保育所のご近所に配られました。



▲森田市長と餅つきをする子どもたち